

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



岩本山より富士山
写真提供：山田昭雄君

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

2006-2007年度
RIテーマ

第1708回



率先しよう

ウィリアムB. ボイド

<ソング> 奉仕の理想
<ソングリーダー> 竹田 勲君

会長報告 村松 英昭君

3月も終わりになります。わが家の桜も3輪咲きました。昨年10月に植えたチューリップも咲き、ライラックも咲き、華やいだ季節となりました。

来る、4月8日は、創立35周年記念式典が開かれます。松葉義之実行委員長のもと、着々と準備が進んでいます。当日は、会員全員で式典を祝いましょう。みなさまの力で、素晴らしい35周年記念日と致しましょう。

また、4月14日は、友好クラブ白山ロータリークラブ(旧松任ロータリークラブ)の創立40周年記念式典があり、13日、14日と家族親睦旅行を兼ねて出掛けます。現在16名の方が参加いたします。今からでもご都合のつく方は、是非、ご参加下さい。

先日、藤枝市へ、姉妹都市になぜ松任市を選んだのかを問い合わせたところ、先方の松任市からぜひにと言われたので、姉妹都市にしましたとの返答でした。

今度、松任市(現白山市)へ行きますので、どのような理由で藤枝市を姉妹都市に選んだのかを聞いてきたいと思います。

私事になりますが、2期4年努めました藤枝歯科医師会会長を3月末で退任いたします。4月からは、藤枝ロータリークラブの会長職に専念する事ができます。残り3ヶ月ですが、今までの分も含め、粉骨砕身頑張っていく所存でありますので宜しくお願い致します。

幹事報告 後藤 功君

- ・(財)米山梅吉財団より、米山梅吉記念館春季例祭のご案内が届いております。

日時 平成19年4月28日

場所 米山梅吉記念館ホール

- ・藤枝市国際友好協会事務局よりFIFS.NEWS、No82が届いております。
- ・(財)ロータリー米山記念奨学会より、2007年7月 表彰品一部改訂のお知らせが届いております。
- ・地区より、ロータリー財団国際親善奨学生追加募集のご案内が届いております。

出席報告 青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
28 / 39 71.79%	30 / 39 76.92%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
○鈴木廣君 ○望月俊君 ○杉山君 ○前島君
浅川君 飯塚君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君
宮崎君 望月志君

- (2)メイクアップ者
鈴木 廣利君(藤枝南) 杉山 静一君(藤枝南)
櫻井 龍太君(藤枝南) 北村 幸男君(藤枝南)

スマイルBOX 青島 彰君

- ・3月26日の結婚記念日に立派できれいなバラの花束を頂きありがとうございました。女房は大喜びでした。前島親睦委員長ありがとうございました。
村松 英昭君

- この三月末で二期四年間努めました藤枝歯科医師会会長を退任いたしました。やっとロータリークラブの会長職に専任できます。 村松 英昭君
- 娘に男子誕生。4番目の孫になります。

柳原 寿男君

- 去る3月15日にホテルルートイン藤枝が竣工し、開業の運びとなりました。機会がありましたら、是非ご利用下さい。 青島 克郎君

スマイル累計額 703,268円

■ P E T S 報 告

副会長

小宮弘一郎君



3月11日（日）ホスト沼津ロータリークラブ、会場は沼津東急ホテルで、会長（幹事）エレクト研修セミナーPETSを行い、次年度幹事 青島彰君と勉強会に出席しました。

2007～2008年度国際ロータリー会長ウィルフッドJ. ウィルキンソン氏のRIテーマは「ロータリーは分かちあいの心」を掲げています。

2007～2008年度第2620地区ガバナー 渡部乗氏のテーマは「情熱と行動」を上げています。渡部乗ガバナーエレクトは次の5項目を目標にしています。

1) 少人数クラブのケア

第2620地区では会員数20名以下のクラブが10クラブあり2005－2006年度は残念ながら1クラブの脱会があった。少人数のクラブの動向をよく観察して（月末の会員数の維持状態、各種寄付の進捗状況、奉仕プロジェクトの活動状況など）を把握して早めに対処する。それにはG補佐の助けを借りることになる。

2) CLPプログラムの浸透をはかる

CLPはその採否について各クラブにまかされている。しかし各種資料はCLPに基づいたもの

となっている。したがって今後は否応なしに採用の方向に向かうようになる。新しい会員にとっては、以前の4大奉仕時代を知らない事になるかもしれない。ロータリーの綱領を理解し、推進することが大事である。

3) 奉仕プロジェクトの活性化

CLP採用の結果今までの4大奉仕でがんじがらめになっていた活動が楽になったとあって衰退してはならない。奉仕プロジェクトは自由な発想をもとに、長期目標を立て、会員全員参加をすることによってクラブをよりいっそう活性化させるものである。そのことを充分認識して奉仕活動にあたる。

4) 各種寄付の100%達成をお願いする

ロータリー財団の寄付毎年1人100ドル、ベネファクター、ポールハリスフェローなど、ロータリー米山記念奨会への1人12,000円の寄付などできれば100%達成を目指したい。

そのためにはR財団で言えば3年後には寄付額の50%が地区に還元され使用できること、米山記念奨学生がどのような活動をしているか充分理解できるよう各クラブにきめ細かい説明をして理解してもらうよう勤める。

5) ITの促進

井上年度に引き続きIT化の推進を図る。クラブ内にIT推進委員を決めていただく。ガバナー月信は会長幹事に送付する事になっているが（手続要覧）、当地区では会員全員に配布されている。全員配布を原則とするが、今年度は試験的試みとして会長、幹事にのみ配布し、希望するクラブによっては会員は地区ホームページの中のガバナー月信をクラブで見えていただくか、必要ならばクラブで印刷していただき（印刷費がかかります）会員に配るなどを検討してみる。さらに地区への報告もメールを利用するなどを進める。

CLPについてのアンケート調査の結果

ガバナーエレクト事務所

2007年2月10日現在

クラブによって複数回答あり(今年度、次年度会長)

G補佐：ガバナー補佐

R：ロータリー

【1】CLPを知っていますか	
A 知っている	90
B 知らない	1
【2】何で知りましたか	
A 地区の会議 (PETS、地区協、公式訪問など)	75
B G補佐からの説明	35
C Rのウェブサイト	10
D その他	6
【3】CLPの理解度について	
A 充分知っている	43
B 不十分である	42
C 理解していない	1
【4】CLPの導入について	
A 今年度すでに導入している	4
B 次年度から導入する予定	42
C 検討中である	37
D 導入予定はない	6
【5】奉仕プロジェクト委員会として	
A 職業、社会、国際、新世代すべてに活動をする	33
B 選択して活動する	17
C 選択した場合	
職業奉仕	12
社会	15
国際	9
新世代	6
独自	1
【6】5つの常任委員会について	
A 簡素化されてよい	51
B 今までどおり4大奉仕が大切	28
C よくわからない	11
【7】CLPの説明	
A 地区からクラブへ説明	38
B G補佐に取り上げてもらう	28
C Rの文献などで充分	6
D Rのウェブサイトを利用する	8
E 特にいない	14

(担当/櫻井)